

## 平成27年度社会福祉法人鼓ヶ浦整肢学園 事業報告

### 1 施設・事業の再編計画の実行

平成27年度は、「施設・事業の再編計画」が実行段階に入り2年目となり、建設工事も着実に実行され、概ね計画通り実行出来た。

なお、定款におけるこれらに関係する事項に関しては、今年3月の役員会で承認を得て、周南市長へ定款変更手続き済み。

#### (1) 鼓ヶ浦あゆみ園移設工事

旧鼓ヶ浦つばさ園跡を8月17日～10月30日で全面改修し、31日には引っ越しを行い、鼓ヶ浦あゆみ園の移設を10月末には完了した。

11月1日から新しい事業所で業務を開始することが出来たが、準備の関係上、実質的には11月4日から業務を開始した。

#### (2) 旧鼓ヶ浦つばさ園長室跡改修工事(ST室増設)

旧鼓ヶ浦つばさ園長室跡を平成28年2月～3月末で改修工事を行い、ST室2室を増設し、平成28年度から訓練可能とした。

よって、訓練面における喫緊の課題の一つであるST室の増設に対応することが出来た。

#### (3) 鼓ヶ浦デイサービスセンターの廃止

今年度1年間は休止し、その間12月には独立行政法人福祉医療機構からの借入金に係る最後の償還を行い、今年3月末で廃止した。

### 2 新会計基準への円滑な移行

新会計基準については、経理規程の全面改定を行い、電算システムも準備を行い、経理担当者のみでなく役職者も研修の受講を重ねると共にセンターと鼓澄苑の連携を密にし、周到な準備の上、平成27年度当初予算から円滑な移行が出来た。

### 3 周南市基幹相談支援センターの受託

周南市基幹相談支援センターは、今年度より周南市から受託し、総合相談支援センターぱれっとにて対応した。

業務は、主として周南市地域自立支援協議会における「相談支援会議」の議長として、会の運営や事業所間の調整に携わると共に、研修会の企画・講師派遣、困難事例への支援や調整、周南市との定例会議等を行った。

### 4 家族・利用者の代表者の評議員への就任

社会福祉法人としての公平性・透明性をより高めるために、平成27年度から、家族・利用者の代表者である鼓友会会長魚谷陽子氏に評議員への就任をいただいた。

経営面については、依然として厳しい経営環境の中、役職員一丸となった経営努力の結果、法人全体としては着実な運営が出来た。

しかしながら、今後、社会福祉法人の抜本改革や社会保障費の見直しを控え、法人及び施設経営は、さらに厳しさを増すものと考えられるが、基本理念である「人権尊重と利用者本位のサービスの提供」を目指し、より適切かつ効率的な運営に取り組んでいく。

## 【平成27年度の主な事業活動内訳】

### 1 経営基盤の確保

#### (1) 利用者の安定的確保

利用者の確保については、鼓ヶ浦つばさ園及び鼓澄苑関係は全体的に概ね計画通り着実に出来た。

鼓ヶ浦こぼと園・ひばり園は、目標人数85名で3月には84名まで確保出来たが今一步であった。

鼓ヶ浦あゆみ園は、目標人数17名であったが、登録者数の減少等あるなか1人当たりの利用回数を増やすなど努力し15名は確保した。

#### (2) 福祉・診療報酬改定への的確な対応

平成27年度は福祉報酬の改定が行われたが的確に対応出来た。診療報酬は平成28年度改定に向けて情報収集等準備に務めた。

#### (3) 経費節減の周知徹底

電気・ガス・水道の使用量・使用料金について、毎月対前年度比較表を示し、経費節減を呼びかけた。

### 2 施設・設備等の整備

#### (1) 施設・事業の再編計画関係

○鼓ヶ浦あゆみ園移設工事 30,366,000円

○旧鼓ヶ浦つばさ園長室跡改修工事(ST室増設) 4,536,000円

#### (2) 鼓ヶ浦こども医療福祉センター

##### ○医療関係

・オゾン水内視鏡消毒器[新規] 2,106,000円

・超音波骨密度測定装置[新規] 1,242,000円

・電動ベッド購入(10台)[更新・普通→電動] 3,018,600円

#### (3) 障害高齢福祉センター鼓澄苑

○1階浴室改修 2,717,000円

○昇降式介護浴槽一式 5,994,000円

○食器消毒保管庫 994,000円

### 3 利用者サービスの向上と充実

#### (1) 医療サービスの充実(鼓ヶ浦こども医療福祉センター)

医師・看護師・リハスタッフ等マンパワーの確保に務め、入院・外来患者ともに特性に応じた医療の提供の充実に努めた。

#### (2) 個別支援計画に基づくサービスの提供

利用者等の意向や特性を踏まえ個別支援計画を作成し、利用者等の同意を得た上で、この計画に基づくサービス提供の充実に努めた。

#### (3) 療育カンファレンスの実施(鼓ヶ浦こども医療福祉センター)

主治医を中心に関係職種が一堂に会し、入所者全員を対象に1年かけ医療や療育のあり方を協議し、医療福祉サービスの向上に努めた。

#### (4) 障害者スポーツへの取組(鼓澄苑)

身体を動かす運動も平素より取り入れ、障害者陸上競技大会(5月10日)障害者総合球技大会(10月11日)、風船バレー大会(11月19日)へも積極的に参加するなど障害者スポーツ等にも取り組んだ。

#### (5) 利用者の安全確保

ヒヤリハットとアクシデント発生後の再発防止策の検討や冬期のインフルエンザ予防への取組等関係委員会も活用し、利用者の安全確保の充実に努めた。

#### (6) 作品展の開催

○鼓ヶ浦こども医療福祉センター(11月10日～12日)

地域交流ホーム 利用者及び職員の絵画・写真等作品展示

○鼓澄苑(10月9日～26日)

玄関から苑長室前の廊下 利用者の編み物・陶芸・書道等作品展示

### 4 防災対策の充実

○毎月持ち回りで各部署を火元と想定し、消火避難訓練を実施した。

○夜間想定消防訓練

11月20日 鼓ヶ浦こども医療福祉センター1病棟入所者を中心に実施

○利用者参加の消防訓練

28年1月15日 鼓ヶ浦あゆみ園にて実施

2月19日 鼓ヶ浦つばさ園放課後等デイサービス事業所にて実施

### 5 雇用の安定確保と人材育成

#### (1) 人材の確保対策の充実

○ハローワークやホームページ等の積極的活用を図った。

○看護学生奨学金貸与制度活用 利用者1名[徳山看護福祉専門学校]

27年度採用2名[YIC看護福祉専門学校1名、防府看護専門学校1名]

○看護師国家資格を目指した准看護師には、病棟師長を中心となって種々サポートした結果、看護師国家試験に2名合格した。

○実習生の受け入れ

医療系：看護師、理学療法士・作業療法士

福祉系：社会福祉士、介護福祉士、保育士

## (2) 人材の育成

○新規採用職員の定着につながる指導体制の充実に努めた。

○県等や上部団体実施の階層別・テーマ別研修へ積極的に参加した。

○協会認定重症心身障害看護師研修受講[26～27年度 1名]

○研修委員会による法人全体の研修を年6回開催した。[延べ354名参加]

## 6 地域支援

### (1) 短期入所事業

鼓ヶ浦こぼと園(医療型・重症心身障害児者)・鼓澄苑(福祉型)共に在宅支援の柱として利用者や家族の意見を聞きながら実態に即して実施した。

・鼓ヶ浦こぼと園 宿泊有り 20件・延べ 56日(実人員 11名)

宿泊無し 35件・延べ 35日(実人員 8名)

・鼓澄苑 延べ 157日(実人員 19名)

### (2) 鼓ヶ浦つばさ園放課後等デイサービス事業

平成26年度まで周南市から受託の周南市障害児通所支援事業を引継ぎ、鼓ヶ浦つばさ園の多機能事業の一つとして放課後等デイサービス事業を4月から開始した。

対象は周南総合支援学校通学児の重症心身障害児に特化し、放課後及び夏休み等休業日において、必要な訓練や社会との交流促進を行った。

特に、医療的ケアサービスの提供には特段の配慮を行った。

[登録者数9名 年間受入延べ人数605名 1日平均受入数2.54名]

### (3) 見学・体験実習の引受

各施設の特性にも配慮しながら可能な限り引き受けた。

[見学、体験実習、教員体験実習、中学生福祉体験実習]

### (4) ボランティアの受け入れ・活用

従来から各種ボランティアを受け入れると共に有効に活用してきたが、今後も利用者サービスのより充実に繋げていきたい。

・センター関係：ウェス作り(保護者会)、おはなし会、人形劇

生活介護[食事・着替えの介助等]高校生・看護学生

・鼓澄苑関係：外出援助、各種教室講師・クラブ活動講師等